

エネルギーの地産地消と 自給率向上に向けて

[2017年11月7日:都市問題等調査特別委員会／静岡県浜松市]

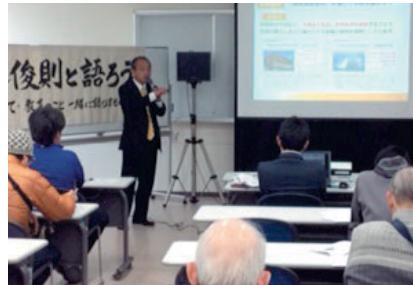
2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、再生可能エネルギーを効率的に利用した「分散型のエネルギー供給システム」の構築が社会の大きな流れとなりました。本市では、太陽光等の再生可能エネルギーを最大限活用し、2030年度末には市の全消費量の8%(40万kW)とする「福岡市環境・エネルギー戦略」を2014年に策定しています。この日視察した浜松市は、日本トップクラスの日照時間や市域の7割を占める森林面積の優位性を活かし、太陽光発電やバイオマス発電の導入等、エネルギーベストミックスによる電力確保を目指しています。本市においても、引き続き、太陽光・風力に加え木質バイオマス発電等の再生可能エネルギーの普及に向け、市有地・公共施設を活用した電源開発を進めていく必要があります。

[市所有施設の再生可能エネルギー等による発電状況 2016年度 環境局]

種別	施設数	発電出力(kW)	備考
太陽光発電	メガソーラー	5	5,320 メガソーラー発電所[大原、蒲田] 青果市場太陽光発電所 水処理センター[西部、新西部]
	その他	179	2,380 公民館、小学校等
バイオマス発電	廃棄物発電	4	80,900 清掃工場[東部、西部、臨海、福岡都市圏南部]
	その他	2	1,695 水処理センター[中部、和白]
小水力発電		2	131 浄水場[瑞梅寺、乙金]
合計		192	90,426 屋根貸し等による事業者設置を含む

市民の声を議会に届ける

[2017年11月23日:コミセンわじろ、12月2日:なみきスクエア]



報告会では、「市中小企業振興条例」策定や待機児童解消に向けての施策等の2017年度新規事業の説明とともに「公立夜間中学の設置」や「子どもの貧困解消に向けてのひとり親家庭への就労支援強化」等、各定例議会での質問の概要を報告しました。会場からは、沿岸漁業の振興や海岸漂着物の問題、香椎駅周辺土地区画整理事業の進捗状況、東区役所の混雑解消等の要望も聞かせていただきました。また、アンケートには、保育士の待遇改善や子どもの貧困解消に向けての保護者負担軽減、自転車危険走行の対策等多くのご意見ご要望を聞かせていただきました。本年も、市政報告会等を通じて市政の課題解消に向けとりくんでいきます。

報告会では、「市中小企業振興条例」策定や待機児童解消に向けての施策等の2017年度新規事業の説明とともに「公立夜間中学の設置」や「子どもの貧困解消に向けてのひとり親家庭への就労支援強化」等、各定例議会での質問の概要を報告しました。会場からは、沿岸漁業の振興や海岸漂着物の問題、香椎駅周辺土地区画整理事業の進捗状況、東区役所の混雑解消等の要望も

聞かせていただきました。また、アンケートには、保育士の待遇改善や子どもの貧困解消に向けての保護者負担軽減、自転車危険走行の対策等多くのご意見ご要望を聞かせていただきました。本年も、市政報告会等を通じて市政の課題解消に向けとりくんでいきます。

議会活動レポート Vol.17

おちいし俊則

福岡市議会議員【東区】

寒中お見舞い申し上げます

「憲法改正」議論が加速化する一方で、子どもの貧困や虐待、長時間労働による過労自死等が社会問題化し、あらためて「憲法とは、平和とは何か」を考える機会が増えています。

「お金のことを心配しないで学校で勉強できる」「自分にあった仕事に就いて生活できる」等、改正議論の前に憲法の理念を政治に反映させなければなりません。今年も平和・人権・教育・福祉・環境を重視した市民生活優先の「住みよいまちづくり」にとりくんで参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

第5回定例会(12月議会)一般質問

[2017年12月15日]

ふくおか「働き方改革」推進企業認定事業

【落石】事業の期待される効果を尋ねる。

【経済観光文化局長】働き方改革により職場環境の改善が進むと、生産性、従業員の満足度や定着率、モチベーションが高まり、その結果、企業イメージ向上や人材確保などの効果も期待できる。

【落石】市が独自に定めた「働き方改革」の具体的な項目は何か。

【経済観光文化局長】「非正規雇用の処遇改善及び正規雇用の促進」の分野では、非正規雇用労働者に対する法定の条件を上回る休暇制度の設定、正規雇用労働者数の増加など。また「長時間労働のは正」については「ノー残業デー」の設定、一定時刻以降の全社一斉消灯の取り組み、正社員の所定外労働時間の月平均が20時間以下であることなど。



本市の30歳未満の若い世代は、5年前と比べて正規雇用の割合は増加にあるものの、非正規雇用が依然として40%を占めています。また、労働相談は、未だ年4600件以上に高止まりし、県内の新規学卒者の離職率は全国に比べ、約5ポイントも高くなっています。

このような雇用・労働環境の中、働き方改革を積極的に進めている企業を、市が認定することにより、働き方改革の促進を図るとする「ふくおか『働き方改革』推進企業認定事業」が11月から始まりました。

本社が市内にあること等が要件とされ、市内約73,900事業所のうち、6割に当たる約46,400事業所に限られていますが、この事業を通して、企業が、働く者の立場に立ち「脱長時間労働」をはじめ、正規雇用の拡大や非正規雇用者の待遇改善、「ワーク・ライフ・バランス」の推進を含めた実効性ある「働き方改革」を取り組むことが求められます。

「『働き方改革』推進企業」認定の要件

- 本市に主たる事業所を有すること。
- 働き方改革に関する方針を明確化していること。
- 市が設定した「実現に向けての手法」や「分野別の取組み」28項目のうち16項目以上を達成していること。
 - 「実現に向けての手法」(5項目)
 - 「非正規雇用者の処遇改善、正規雇用の推進」(4項目)
 - 「長時間労働のは正」(7項目)
 - 「ワーク・ライフ・バランスの確保」(6項目)
 - 「ダイバーシティの推進」(6項目)

東奔西走 おちいし俊則 活動報告 2017年 10月～12月

防災公園

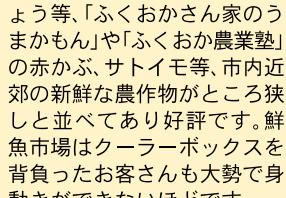
(10月31日 立命館大学
大阪いばらきキャンパス)



工場跡地の土地利用転換を契機に茨木市とUR土地機構、立命館大学が連携し子どもや市民が交流し賑わう空間が創られ、地震や洪水等の災害時には一時避難地として位置づけられています。九州大学箱崎キャンパス跡地をはじめ開発地には一時避難の機能を備えた防災公園整備が欠かせません。

農林水産まつり

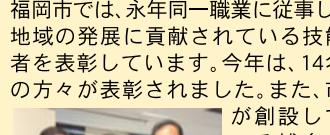
(11月11日 長浜鮮魚市場)



収穫の秋。ジャムや柚子ごしょ等、「ふくおかさん家のうまかもん」や「ふくおか農業塾」の赤かぶ、サトイモ等、市内近郊の新鮮な農作物がところ狭しと並べてあり好評です。鮮魚市場はクーラーボックスを背負ったお客さんも大勢で身動きができないほどです。

技能功労・優秀者表彰式 博多マイスター認定式

(11月30日 西日本新聞スカイホール)



福岡市では、永年同一職業に従事し、地域の発展に貢献されている技能者を表彰しています。今年は、14名の方々が表彰されました。

餃子づくりにチャレンジ

(12月16日 中国駐総領事館)



今年で5回目となる「日中友好餃子交流会」が開催されました。総領事館の皆さんや中国留学生、友好協会会員、教職員等80名が7つのグループに分かれ、餃子づくりに励みました。留学生等の指導のおかげでなんとか、形が整った餃子を作ることができました。

PROFILE

1956年4月1日 福岡市東区奈多生まれ

1971年 和白中学校卒業

1974年 福岡高等学校卒業

1979年 福岡教育大学卒業

1979～2006年

27年間、福岡市内の小学校で教壇に立つ(和白東小、千代小、香椎浜小、東吉塚小、美和台小)

2011年 福岡市議会議員 初当選

2015年 福岡市議会議員 二期目

所属委員会・協議会等

- ◆ 第3委員会
(経済観光文化局、農林水産局、港湾空港局)
- ◆ 都市問題等調査特別委員会
- ◆ 九州大学移転・跡地対策協議会
- ◆ 福岡市中小企業振興審議会
- ◆ 博多港地方港湾審議会
- ◆ 福岡市水産業振興審議会

おちいし俊則事務所

〒811-0204

福岡市東区奈多1-10-12

TEL 092-606-4541

FAX 092-606-6878

<http://www.ochiishi.jp/>
[e-mail / info@ochiishi.jp](mailto:info@ochiishi.jp)

